

「平成 22 年度 特別講演およびシンポジウム 予稿集」において
印刷が不鮮明であった写真・図表の差し替え版

一般社団法人 日本応用地質学会
事業企画委員会

特別講演：「初生地すべりの解剖学」 千木良 雅弘（京都大学）



図-1 台風モラコットによって発生した小林村の地すべりの削剥域にみられた砂岩泥岩互層の座屈

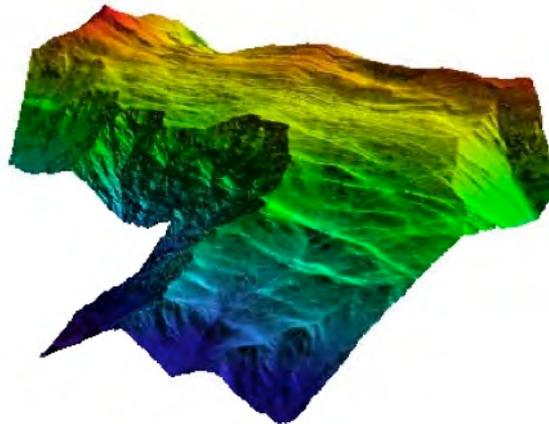


図-2A 大井川上流の赤崩上方にみられる無数の線状凹地。曲げトッピングに伴う層理面沿いのずれが線状凹地として地表に表れている。

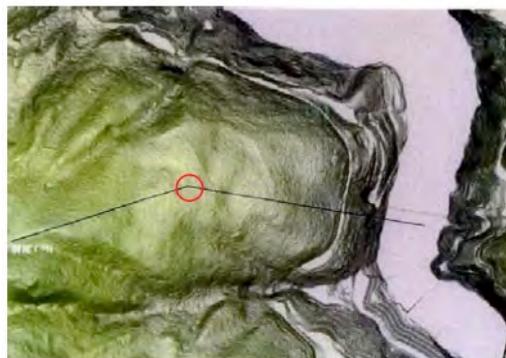


図-3 航空レーザー計測によって作成した陰影図。

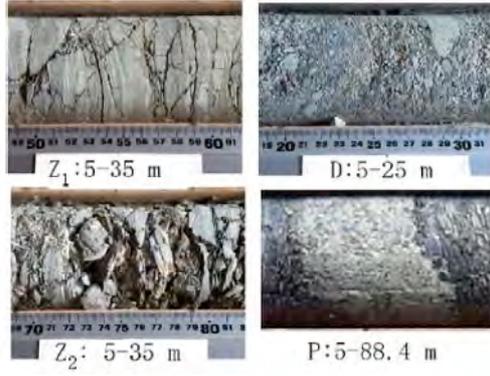


図-4 岩石の破碎の区分（針山岳大，未公表データ）



図-5 頁岩が層理面に沿って引き裂かれていく様子。

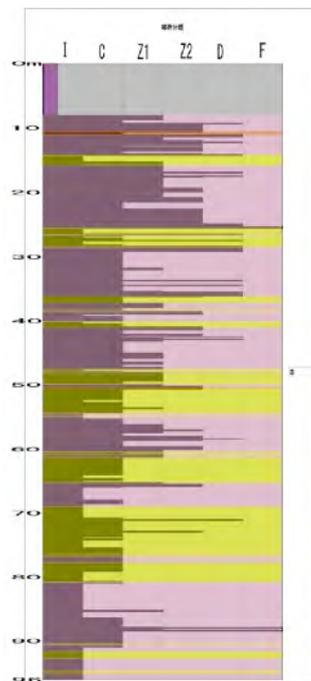


図-6 岩石の破碎程度の深度方向分布（針山岳大，未公表データ）。図-3の斜面中央部○印。

シンポジウム

「付加体地すべりにおける地すべりの初生と初生地すべり」 横山俊治（高知大学）



写真-1 地すべり末端が河床より高標高に位置する打木地すべり（高知県吾川郡いの町打木）



図-1 打木地すべり（a）と周辺の地質（b）（高知県吾川郡いの町打木，田中昭雄原図）



写真-2 尾根の裂け目-大引割- (高知県高岡郡仁淀川町. 裂け目のそこから 30m 見上げて撮影)

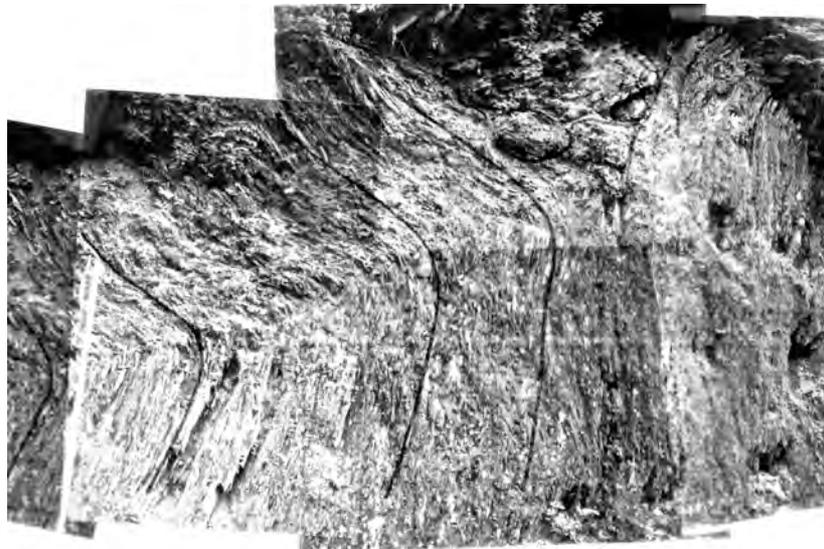


写真-3 尾根の両側への傾動で生じた開口クラック (静岡市安倍川支流関の沢)

「バランス断面法の重力変形体への適用 -山梨県北部・風化花崗岩の例-」

小坂英輝（東北大学, 株式会社 環境地質）, ほか

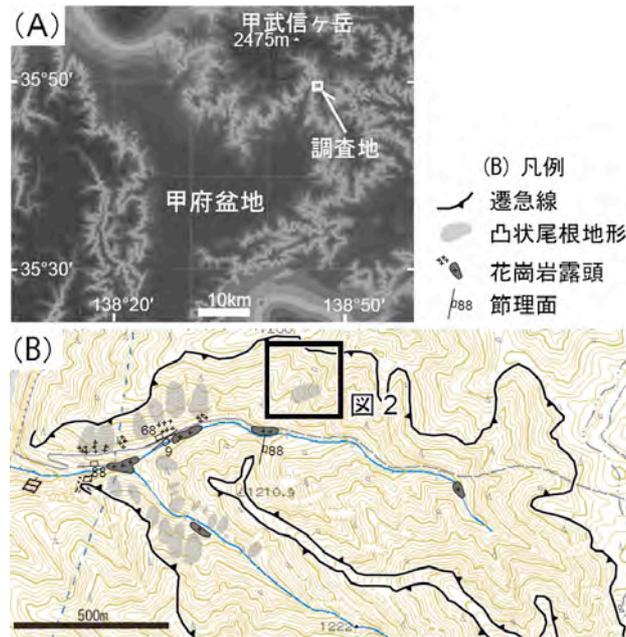


図-1 調査位置図 (A), 調査地周辺の地形・地質 (B).

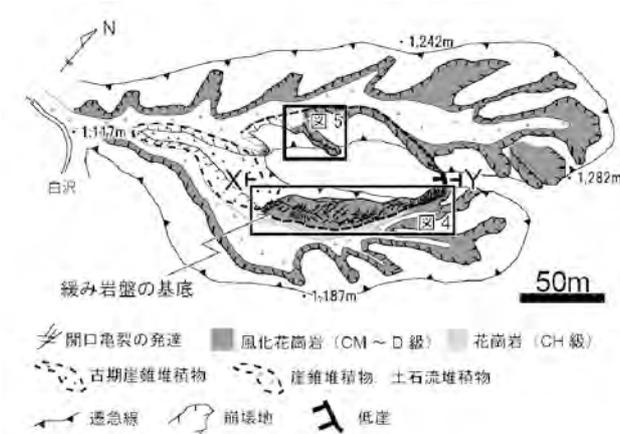


図-2 重力変形体周辺のルートマップ。X-Y: スケッチ図とバランス断面図の測線。



写真-1 区分Ⅱ (頭部) の割れ目。矢印は、碎屑物で充填された割れ目。



写真-2 区分 IV (末端下部) の岩盤の回転. 位置は図-4 の Loc. A.

「岩盤斜面の地すべり発生に関する事例研究」 永田秀尚 (有限会社 風水土)



図-1 もともとほぼ直立した地層の表層がトップリングを起こしているが、それを覆うテフラは乱れておらず、運動は終了したように見える。



図-2 典型的とおもわれる座屈だが、節理面沿いのすべりにともなうものである。中央の岩塊のたわみは割れ目をともなっておらず、本当にクリープしているかもしれない。三重県御在所岳。地質は花崗岩。